

## 新任研修を行いました

令和5年8月26日(土)、松本青い鳥幼稚園を会場としてお借りし、新任の先生方を対象とした研修を実施しました。残暑厳しい時期ではありましたが、49名の先生方にご参加いただきました。当日は中信地区の研修委員の先生方が中心となり運営いただき4講座を行いました。当日の様子や参加された先生方の感想をまとめてみましたので、参考にしてください。

### 第1講座「自然を保育に生かす」

…認定こども園松本光明幼稚園長 西片紀美子先生をはじめ中信地区の研修委員の先生方に講師をお務めいただき、フィールドビンゴ、カモフラージュ、石鹸クリームケーキ、色水作りの中から2つ体験しました。



\*左から、カモフラージュ、色水作り、石鹸クリームケーキに挑戦しているところです

色水作りでは、水の色が変わっていくおもしろさだけでなく、花のにおいや感触も楽しめるということを知り、保育に取り入れる際にはこのようなことも子どもに感じてもらえるように準備をしたり声を掛けたりしたいと思った。石鹸クリーム作りでは、硬い石鹸が本物のクリームのように柔らかくなるのがとてもおもしろく、子どもと一緒にやってみようと思った。一緒にクリームを作っていた先生が、最初に作った色水を入れたらクリームに色がつくかもしれないと言って、クリームと色水を混ぜてみたという出来事から、子どもたちと一緒に遊ぶ際にも、子どもが自分で考えたり工夫したりできる環境を作っておくことが必要だと感じた。また、遊び始める時間を確保しておくことも大切だと思った。

### 第2講座「野外活動での安全確保」

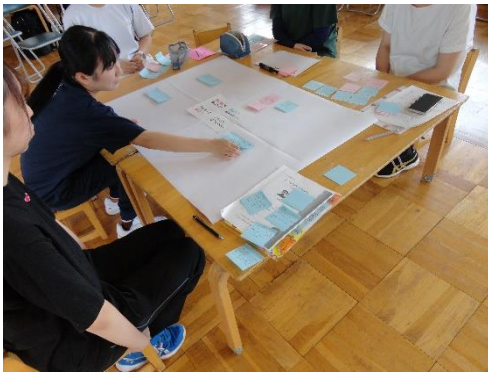
…第1講座に引き続き、西片紀美子先生に講師をお務めいただきました。第1講座の実習場面を振り返りワークショップで保育活動での安全について考え合ったり、西片先生の園でのキャンプ活動の振り返りから安全を考えたり、野外活動での安全対策のポイントについてこれまでの自分の考え方を見直す機会になりました。



砂場の近くに石鹸コーナーが設置されていたため、ホイップを作り、飾り付けをするのがとてもスムーズに行えたので環境設定の大切さに気づくことが出来ました。林が沢山あり木陰がとても涼しく子どもたちの熱中症予防にも繋がる素敵な園庭だなと思いました。危険を全て防いでしまうのではなく、子どもたちはそれすらも体験しながら危険察知能力を向上させています。そのことを踏まえながら、保育していく大切さを学びました。

### 第3講座「日頃の保育について語り合おう」

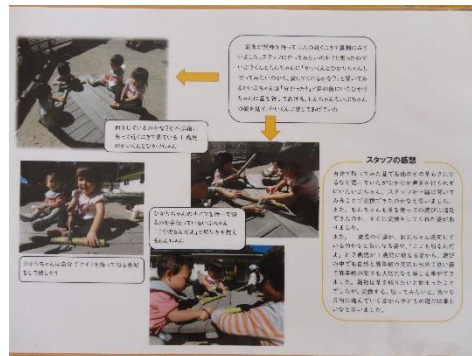
…松本青い鳥幼稚園長 中島公子先生に講師をお務めいただきました。参加者を10グループに分け、日頃の保育について、「やりがいを感じたこと、困った！難しいと感じたこと、子どもってすごい、これからこうしたい」以上4点について、付箋に書いて情報交換しました。また、グループに好きなものを折りこんで名前をつけました。グループでの話し合いのまとめとして、これからの保育での「チャレンジ目標」を決め発表しました。



…松本青い鳥幼稚園長 中島公子先生に講師をお務めいただきました。参加者を10グループに分け、日頃の保育について、「やりがいを感じたこと、困った！難しいと感じたこと、子どもってすごい、これからこうしたい」以上4点について、付箋に書いて情報交換しました。また、グループに好きなものを折りこんで名前をつけました。グループでの話し合いのまとめとして、これからの保育での「チャレンジ目標」を決め発表しました。

この研修のワークショップでは、同じ年代の子どもたちを担当している先生たちが集まったので、共感することがとても多くありました。日々、自分自身が悩んでいることと同じことを悩んでいるのだと思うと心も軽くなりました。また、それについてどうしていったらいいのだろうかと考えられる学びの時間が持てました。トイトレーニングに悩んでいる先生たちが多く、なかなかトイレに行けない子どもへの声のかけ方、お昼寝の時間など、この年代の子どもたちの生活についての議題が多くありました。様々な園での対応をお聞きして、これだったらできそうだななど、取り入れられる部分もありました。声の掛け方などワークショップで学んだことを活かしていきたいと思います。また、グループで、「毎日笑顔で挨拶を欠かさずする」という目標を立てました。子どもたちの前では笑顔をたくさんみせて、「今日も楽しいな」と思ってもらえるようにしていきたいです。

### 第4講座「保護者対応について学ぼう」



…(一社)長野県私立幼稚園・認定こども園協会理事 大森けい子先生に講師をお務めいただきました。大森先生からは、保育者として保護者との関係をどう築くか、築く上で大切にしたいことについてお話いただきました。また、保護者への発信と

して作成した、保育記録(ラーニングストーリー)をご持参いただき、「子どもの主体的な学び」を育てる上で大切にしていきたいことについてお話いただきました。

○子どもとの関わり方も難しいが保護者との関わり方も難しいと感じている。伝え方に失礼がないかなど、どう対応したらいいのか日々悩んでいる。だが、当たり前のこととして非をしっかりと認め、まずは素直に謝ることが大切である。その後、具体的にこんなことがあったと話を保護者の方にしっかりと理解していただいた上での対応が大切であると学んだ。これから働いていく上で色々な苦情や対応を経験していくと思うが、その都度的確な対応ができるようになっていきたいと思った。

○子どもの主体的な保育が大切だということは知っていたが、時間の制約があったり、子どもを主体にした保育を実践していくのが厳しい環境であり、そのような保育に難しさを感じていた。しかし、自分の思いを尊重された子ほどわがままを言わなくなるという言葉聞いて、改めて主体的な保育の大切さを感じた

。子どもたちが興味・関心のある活動を行い、活動の導入では、「やりたい」と思えるような言葉選びをしていきたい。また、主体性が身に付いていくために、自分でやりたいことを見つけて、自分たちで考えながら達成していく経験を大切にしたい保育をしていきたいと感じた。